

令和5年度シティプロモーションの取組（案）の検討

1 既存の取組

資料2を参照（令和5年度も継続して取り組む）

2 令和5年度の重点テーマ

- (1) 市民と一緒につくるシティプロモーションの強化（市民の参画）
- (2) 職員が参画するシティプロモーションの強化
- (3) 2025年大阪・関西万博に向けたPRの強化

3 令和5年度の取組（案）

- (1) 市民、学生と一緒に企画を検討
 - 【例】学生考案のすいたん衣装の制作
- (2) 市民、学生と一緒に商品を開発
 - 【例】すいかし、カプセルトイの商品アイデア募集
- (3) 市民（職員）が参加できる企画
 - 【例】・メッセージを募集し、ロビープロジェクター等で放映（いい夫婦の日、母の日、父の日など）
 - ・こども記者に市内の自慢の場所、人などを取材してもらい、SNSなどで発信
 - ・すいたんイラストデザインの公募…デザインすることを通じてすいたんや市のことを調べてもらう。関心をもってもらう。
 - ・市のいいところアンケート…市民の「気づき」の機会。結果を生かした発信。
 - ・suitable city イメージ動画（市公式インスタグラムで集めた画像で作成）をTik Tokで配信
 - ・吹田市の魅力が詰まった動画（30秒～3分程度）の動画を募集、優秀作品をロビープロジェクター等で放映
- (4) イメージキャラクターすいたんの強化…すいたんを通じたプロモーションの強化
 - 【例】・リアクションしてもらいやすい投稿の増加（突っ込みコメントをしなくなるようなオモシロ投稿、アンケート機能の利用、リツイート数に応じて次々に展開する投稿、いいね数に応じてすいたんの芽が伸びる、など）
 - ・すいたんフリー素材集（すいたんデザインをより豊富に）
 - ・すいたんチャレンジ（動画）をTik Tokでも配信
 - ・吹田くわいのPR・普及の強化…すいたんのモチーフである吹田くわいを知ってもらう。
- (5) 各部局と大学との連携事業の強化
- (6) 大阪・関西万博の開催に向けたPRの強化（機運醸成、機会を捉えた本市PRの強化）
- (7) その他
 - 【例】・連携大学の学生、教職員をシティプロモーションに関するモニターとして任命

し、定期的にアンケートに協力いただき、シティプロモーションの評価をして
もらう。

- シティプロモーショングッズの在り方の検討（グッズを作ること自体の検討）
- 市で実施するスマホ教室等で市公式 SNS のフォローの方法を周知